

令和5年度1日防災学校（浜頓別高等学校）

日 時：令和5年5月25日（木）

場 所：浜頓別高等学校

道教委では、児童生徒に安全に関する資質・能力を身に付けさせるために、平成30年度から、「1日防災学校」を行っています。

「1日防災学校」は、各学校が主体となり、防災の専門家による講義や、地域と連携した防災訓練などの防災に関する授業を実施するもので、今回は、浜頓別高等学校の1日防災学校を見学に行きました。

○ 避難訓練及び自衛隊による炊き出し体験

午前中は校舎での火災を想定した避難訓練と自衛隊による炊き出しを行いました。



○避難訓練

生徒は、避難開始から速やかに避難場所である駐車場へ避難を行いました。

避難終了後、三井校長からは、「避難することだけでなく、高校生は避難している人などを助ける立場でもある」といったお話がありました。

○炊き出し体験

右の写真は野外炊具1号という車です。

1台で200人分の主食及び副食を約45分以内に調理可能です。

また、炊飯の他に揚げ物調理も可能で、走行中の調理もできる優れたものとなっています。



○ 災害対処訓練

午後からは、災害対処訓練として、「土嚢積み・災害救助時の荷運び」「救急救命法」「車両輸送」の体験学習を行いました。



○土嚢積み体験

積み上げる際には、水の侵入を防ぐため、平らに、かつ下段と互い違いになるように積むことが重要であることを学びました。



○荷物運び体験

荷物は、大人でも簡単には持てないほどの重さでした。

○救急救命法

出血時の止血方法など災害時を含めた救命法を学びました。



○車両輸送

自衛隊車両へ乗車し、どのように現地へ向かっているか体験しました。



○ 訪問者の感想

【山田教育支援係長】

今年度最初の1日防災学校訪問でした。浜頓別高等学校では三井校長がお話になったとおり、周りを助けることができるようになる訓練が多く、生徒も助ける立場であることを自覚して取り組んでいる姿が印象的でした。

【幡野主事】

初めて1日防災学校訪問を見学させていただきました。土嚢積みや救急救命法などの体験は災害が起こったときに対応できる力を身に付けるために必要で、生徒のみなさんにとってとても大事な経験になったと感じました。